旭川市科学館報

―平成３０年度版―

Vol.11
令和元(2019)年

旭川市科学館

目　　次

運営組織及び職員数　1

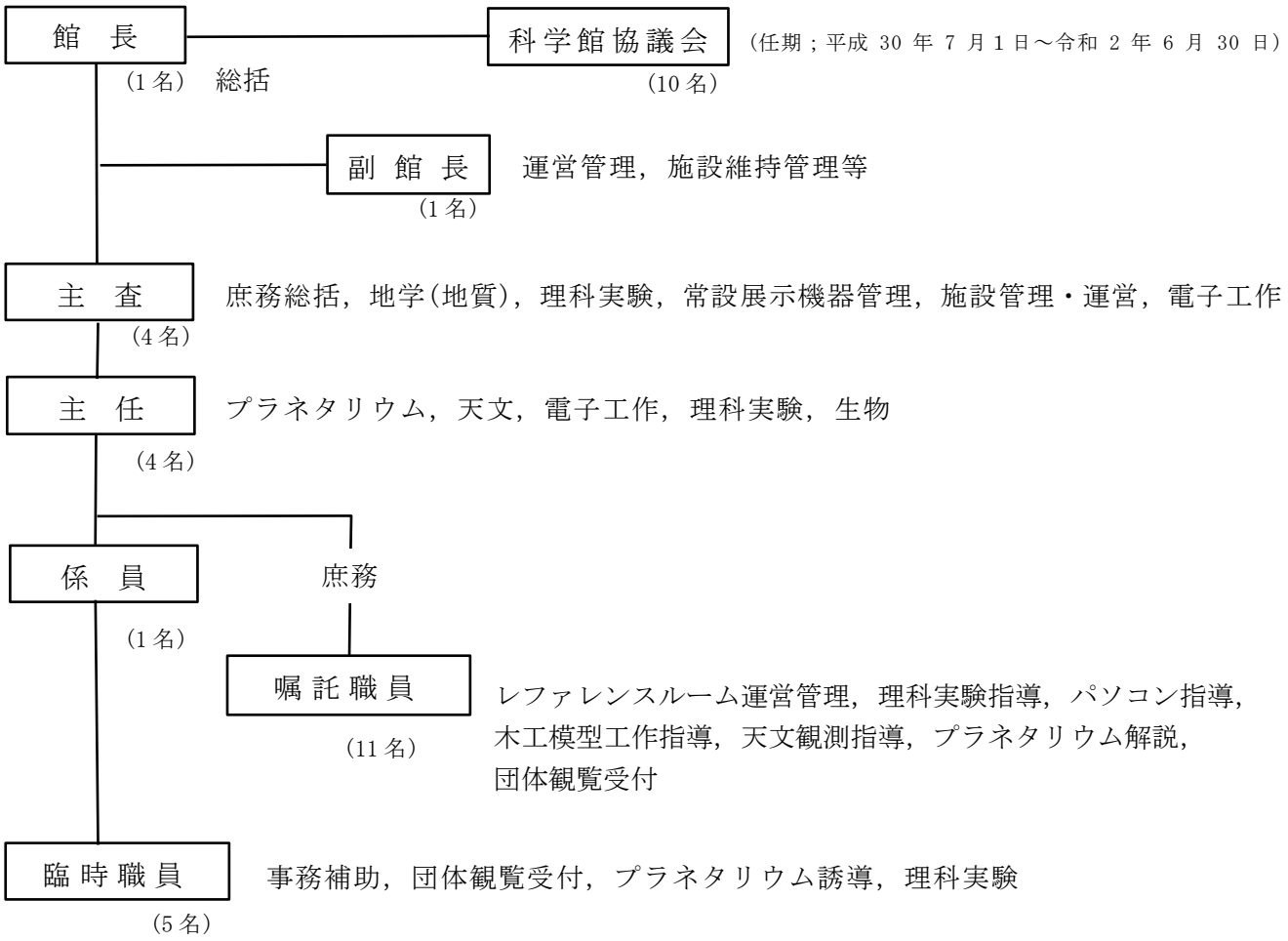
Ⅰ　旭川市科学館の概要
1　考え方……2
2　概要……2
3　沿革……2
4　施設の概要……3

Ⅱ　平成 30 年度学習普及活動の内容
1　施設利用状況……5
2　常設展示事業……6
3　特別展示事業……7
4　講演・講座……7
5　実験実習……8
6　野外活動……10
7　科学イベント……11
8　各種行事……12
9　プラネタリウム事業……13
10　天文台事業……16
11　学校連携事業……17
12　人材育成事業……18
13　ボランティア事業……18

Ⅲ　調査研究活動/情報提供活動など
1　調査研究活動……20
2　貸室事業等……20
3　情報提供活動……20
4　広報活動……20

Ⅳ　旭川市科学館利用案内（平成 30 年度）
1　観覧料……21
2　開館日等……21

運営組織及び職員(平成 31 年 4 月 1 日現在)



科学館職員　計 27 名

Ⅰ　旭川市科学館の概要

1　考え方

旭川市科学館「サイパル」は，子供達をはじめ多様な方々に，様々な科学に関する情報を伝え，科学への関心，理解を深めることを目的としています。

今日，学習普及活動においても分野にとらわれない柔軟な取組が必要とされており，環境問題など新たな課題に対応するため，個々の科学分野を超えて横断的・学際的な取組が求められています。その中で旭川市科学館では，物理学，化学，生物学，地学など，あらゆる自然科学分野を対象とする多彩な活動を進めていきます。

2　概要

サイパルは「北彩都あさひかわ」シビックコア地区に位置しています。

敷地内には，鳥や昆虫などが観察できる野外自然観察空間が設けられており，神楽岡公園や忠別川河畔林などの豊かな自然に囲まれ，のびのびとした空間で自然科学を学ぶことができることが大きな特徴です。

また，多くの方々が利用する常設展示室や特別展示室，プラネタリウムなどを 1 階に，実験実習室などを２階にそれぞれ配置し，子供から高齢者，ハンディキャップを持つ方々など，誰もが使いやすいようユニバーサルデザインの考え方を取り入れています。

駐車場の排雪を利用した雪冷房システムの導入など環境にも配慮し，人と環境に優しい科学館として運営しています。

科学の不思議さを表現したシンボル展示「水竜」，国際家具デザインフェア旭川コンペティション入選作品など美しい地場木製家具の「旭川家具」を配置し，特色ある空間づくりにも配慮しています。

3　沿革

昭和 38 年 11 月３日　旭川市青少年科学館が旭川市常磐公園に開館
平成 17 年１月 30 日　新築移転のため閉館
平成 17 年７月 23 日　旭川市科学館「サイパル」として現在地に移転，開館
平成 17 年８月 13 日　入館者 10 万人を達成
平成 18 年５月　４日　入館者 50 万人を達成
平成 19 年８月 10 日　入館者 100 万人を達成
平成 23 年３月 13 日　入館者 200 万人を達成
平成 26 年 11 月９日　入館者 300 万人を達成
平成 27 年７月 23 日　新館開館 10 周年
平成 30 年７月 15 日　入館者 400 万人を達成

旭川市科学館外観

4　施設の概要

（1）旭川市科学館

・所 在 地　旭川市宮前 1 条 3 丁目 3 番 32 号
・敷地面積　27,099.65 ㎡
・延床面積　 5,799.60 ㎡(車庫棟・雪室棟を除く)
　〔内訳〕　○常設展示室・特別展示室，サイエンスシアター　約 1,780 ㎡
　　○プラネタリウム　約 375 ㎡
　　○天文台　約 90 ㎡
　　○実験実習室ほか　約 655 ㎡
　　○共用・管理運営関係　約 2,900 ㎡
・構　　造　鉄筋コンクリート造，一部プレストレストコンクリート造及び鉄骨造，4 階建
・総事業費　48 億 1,432 万 3 千円(用地購入費，一部外構工事等除く)

（2）各室の内訳

1階	常設展示室(サイエンスシアター含む)	約 1,600 ㎡，(3)常設展示室詳細参照
	特別展示室	約 180 ㎡，各種の特別展を開催
	プラネタリウム	(4)プラネタリウム詳細参照
	学習・研修室	約 150 ㎡，126 席，視聴覚機器敷設
	エントランスホール	観覧受付,シンボル展示，休憩コーナー等
	ミュージアムショップ	各種の科学グッズの販売
	事務室ほか	
2階	パソコン実習室	パソコンを使った学習など
	電子工作室	電子機械工作などの実習
	理科実験室・準備室	物理・化学などの実験実習
	木工模型工作室・作業・準備室	木工・模型工作実習など
	レファレンスルーム・準備室	生物・地学などの観察実習, 自主研究用に各種資料を開放
	休憩コーナー	南東・北西の角に設置（2 か所）
	空調機械室，熱源機械室等	
3階	発電機室	※一般開放スペースはない
4階	天文台（2 基)，観測デッキ等	(5)天文台詳細参照
屋外	駐車場・駐輪場	一般車両 76 台，大型バス 6 台，身障者用駐車場 5 台，自転車 100 台
	エントランス広場，円環広場	休憩・昼食場所，野外での実験実習スペース
	野外自然観察空間	約 5,000 ㎡，在来種の雑木林,トンボ池，野外展示 2 基など自然観察スペースに活用

（3）常設展示

北国・地球・宇宙の３つをテーマとした全４６点の体験型の科学模型，キッズコーナー，科学に関する２Ｄ・３Ｄ映像を上映するサイエンスシアターを展示。

ｺｰﾅｰ			展　示　名
北国			北国の動物はなぜ大きい／氷河期と海面変位／虫の目から見た自然／雪の結晶／ナダレンジャー／北国の天気／旭川ズームイン！／水滴のダンス／低温実験室　　全９点
地球			身体ズームイン／内臓パズル／呼吸のしくみ／人体スキャン／消化器のはたらき／表情の不思議／生命の誕生／風をおこそう／ロボットサッカー／ボールコースター／電磁サークル／スケスケマシン／手さぐりの通路／錯覚の部屋／光のサッカー／ジャンボシャボン／空中スクリーン／光の三原色／影で遊ぼう／バーチャルフライト／スピードガン／ボディーアタック／地震体験／火山をつくろう／雲をつくろう／対流をみよう！／人類の進化／地球環境問題クイズ／燃料電池のしくみ／温暖化から地球を救え／大陸移動 全 31 点及びキッズコーナー
宇宙			ムーンジャンプ／宇宙ゴマ／月の満ち欠け／星の回転運動／宇宙旅行／クイズスペース１　　全６点
サイエンスシアター	３Ｄ	北国	雪の結晶／大雪山の成り立ち／エゾモモンガ
		地球	巨大台風／オーロラ　その神秘に迫る／氷河と地球温暖化
		宇宙	宇宙ステーション／毛利さんと飛ぶ宇宙から見た水の惑星／暗黒の世界　ブラックホール
	２Ｄ	北国	石狩川夢の旅人
		地球	謎の深海底
		宇宙	テラフォーミング～地球から火星へ～

（4）プラネタリウム

面　　積	670 ㎡ （客室 232 ㎡，プロジェクションギャラリー112 ㎡，ロビー228 ㎡，その他 98 ㎡）
ド ー ム	直径 18m，水平型・平面床 170 席（うち 2 人掛け椅子 5 脚，通常時同心円配列・映像投影一部回転式）
投 影 機	カール・ツァイス社製スターマスターＺＭＰ（コンピュータ制御，光源・光ファイバー式），全天周ドーム映像装置など付設
特　　徴	・生解説によるマニュアル投影 ・我が国初のコンピュータ制御式カール・ツァイス社製投影機（導入当時） ・同心円配列の座席としては，我が国初の回転可動式座席

（５）天文台

位置	北緯 43 度 45 分 23 秒　東経 142 度 22 分 13 秒　標高 143m
面積	173 ㎡（うち大天文台 50 ㎡，小天文台 19 ㎡，準備室 20 ㎡，その他 84 ㎡）
大天文台	ドーム直径 8m，口径 65 ㎝　カセグレン式反射望遠鏡（三鷹光器製）及び付属望遠鏡 2 基設置，光電測光装置・バリアフリー接眼装置付設，コンピュータコントロール方式，遠隔操作・観測画像配信システム
小天文台	ドーム直径 5m，口径 20 ㎝　屈折望遠鏡（三鷹光器製）及び太陽ビデオ撮影機能付属望遠鏡 2 基設置，太陽投影板・太陽用Ｈα フィルター。太陽用ビデオカメラ・バリアフリー接眼装置付設，コンピュータコントロール方式，遠隔操作・観測画像配信システム
観測デッキ	口径 10 ㎝の移動式天体望遠鏡や双眼鏡を使って広範囲の星空を観察

II　平成 30 年度学習普及活動の内容

1　施設利用状況　※人数欄の( )は再掲等

（１）各施設の利用状況

内訳 / 月	常設展示室	プラネタリウム	天文台	1)レファレンスルーム	事業活動等参加者	その他	合計	平成29年度
4	8,432	3,916	1,212	1,906	3,255	218	18,939	21,523
5	11,643	4,888	1,453	2,446	9,587	232	30,249	22,338
6	6,177	2,896	704	1,127	2,049	869	13,822	17,572
7	12,897	4,494	1,510	2,467	7,036	141	28,545	27,837
8	20,793	4,292	2,171	3,477	19,002	92	49,827	58,416
9	7,075	3,553	966	1,587	2,593	146	15,920	15,309
10	6,094	2,963	923	1,377	7,563	738	19,658	14,536
11	7,819	3,459	1,034	1,782	4,776	46	18,916	21,072
12	3,883	1,828	379	985	2,812	69	9,956	8,573
1	5,338	1,210	559	1,295	6,519	1,123	16,044	17,060
2	3,144	1,527	344	726	1,995	705	8,441	6,587
3	7,241	3,556	1,061	1,937	4,652	223	18,670	15,314
合計	100,536	38,582	12,316	21,112	71,839	4,602	2)248,987	246,137

1)本報（平成 30 年度版）より，集計対象にレファレンスルームを含む。

2)日平均入館者数　780 人／日（開館日数：319 日）

（2）各施設の利用者数の推移　　（延べ人数）

年度	常設展示室	プラネタリウム	天文台	レファレンスルーム※	事業活動・その他	計	備　考
H21	117,179	60,690	24,274	―	63,340	265,483	
H22	130,229	64,828	19,087	8,057	84,896	307,097	6月～9月無休開館実施
H23	131,268	66,611	15,576	9,101	78,600	301,156	〃
H24	115,940	60,930	13,959	14,730	63,726	269,285	〃
H25	120,877	62,656	16,667	15,380	61,166	276,746	〃
H26	110,264	54,242	13,420	17,142	54,500	249,568	〃
H27	113,324	49,491	15,163	19,110	70,161	267,249	〃
H28	100,312	46,873	13,350	17,568	56,555	234,658	〃
H29	100,421	38,131	12,877	20,283	74,425	246,137	〃
H30	100,536	38,582	12,316	21,112	76,441	248,987	〃

※レファレンスルームの利用者数は平成22年5月以降から集計を行っている。

2　常設展示事業

（1）常設展示室観覧者数　　単位：人

区分／月	個人					団体					人数合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	3,824	93	3,783	249	7,949	63	154	181	85	483	8,432
5	4,579	89	4,107	328	9,103	148	41	2,065	286	2,540	11,643
6	1,905	40	1,799	207	3,951	57	200	1,424	545	2,226	6,177
7	4,250	64	4,557	344	9,215	149	29	2,743	761	3,682	12,897
8	8,663	196	8,944	622	18,425	207	3	1,542	616	2,368	20,793
9	2,676	63	2,501	220	5,460	84	0	1,168	363	1,615	7,075
10	2,480	32	2,274	226	5,012	0	0	591	491	1,082	6,094
11	3,373	43	3,141	204	6,761	23	0	678	357	1,058	7,819
12	1,611	40	1,583	157	3,391	0	0	380	112	492	3,883
1	2,231	39	2,283	180	4,733	0	0	424	181	605	5,338
2	1,547	25	1,250	149	2,971	0	0	103	70	173	3,144
3	3,137	113	3,313	297	6,860	0	0	247	134	381	7,241
合計	40,276	837	39,535	3,183	83,831	731	427	11,546	4,001	16,705	100,536

※「その他」は観覧料免除者（身体障害者・70歳以上・引率者・介護者・行政視察等）

常設展示室

3　特別展示事業

（1）コロッ・クルの夏休み／冬休み

多数の来館者が見込まれる長期休暇中に，無料開放型のワークショップや実験ショー，講演会などの事業を集中的に実施。

ア　夏休み

内容	参加者数	開催日
プラネタリウム特別上映「ポケットモンスター サン＆ムーン」，旭川教育大生のワークショップ，夏休みかんたん工作，サイエンスショー「ドラム缶つぶしの実験」，紙ヒコーキを作って飛ばそう，こどもデザイン教室，おもしろ時計を作ろう，恐竜はかせのトークライブ，－196℃何でも凍らす液体？，サイパル夏縁日，測量・ドローン体験　など	21,521 人	7/21～8/26

イ　冬休み

内容	参加者数	開催日
プラネタリウム特別上映「ポケットモンスター サン＆ムーン」，冬休みかんたん工作，サイエンスショー「タカちゃんのふしぎ実験室」，科学で遊ぶ“冬”，高校生のサイエンスショー「空気の世界を見てみよう」，ジオフェスティバル in 旭川　など	6,385 人	12/22～1/14

4　講演・講座

（1）市民科学講座「サイエンス・セミナー」

内容	参加者数	開催日
「太陽系を探る-はやぶさ，はやぶさ２，そしてその先へ-」 講師：渡部潤一顧問（国立天文台副台長）	87 人	7/16
「日本初の恐竜学者によるトークライブ」 講師：小林快次顧問（北海道大学准教授）	85 人	7/28
岡田弘名誉館長と行くサイエンス・ツアー	9 人	8/1
「人類誕生　～古人類の姿と心を復元する～」 講師：馬場 悠男顧問（国立科学博物館名誉研究員）	(40 人)※	12/22
「十勝岳噴火から３０年たった今を振り返る」 講師：岡田 弘名誉館長（北海道大学名誉教授）	25 人	1/14

※コロッ・クルの冬休みに含む

（2）講演会「野鳥講演会」

内容	参加者数	開催日
「オホーツクの鳥について」	100 人	4/7

5　実験実習

（1）科学館クラブ

	クラブ名	内容	対象	参加者数	開催日
前期	星・宇宙	季節の星座や一等星,惑星の解説と望遠鏡による観測	小3～中学生の親子	94人	5月～9月の土(5回)
	理科	10テーマの実験や観察	小4,5	272人	5月～9月の木・日(10回)
	科学工作	小物入れ付きLEDイルミネーションの製作	小4,5	145人	6月～9月の土(10回)
	パソコン	パソコンの使い方，利用方法	小4,5	135人	5月～9月の日(10回)
	実験・木工	理科実験と木工作	小6～中学生	116人	5月～9月の日(10回)
後期	星・宇宙	季節の星座や一等星,惑星の解説と望遠鏡による観測	小3～中学生の親子	93人	11月～3月の土(5回)
	理科	10テーマの実験や観察	小4,5	137人	11月～3月の日(10回)
	科学工作	木製AM/FMステレオラジオの製作	小4,5	149人	11月～2月の土(10回)
	パソコン	パソコンの使い方，利用方法	小4,5	145人	11月～3月の日(10回)
	実験・木工	理科実験と電子工作	小6～中学生	57人	11月～3月の日(10回)

（2）旭川少年少女発明クラブ

内容	対象	参加者数	開催日
アイディア工作，基礎工作，科学の夢絵画の制作など	小3～中学生	203人	6月～1月の日(12回)
発明クラブ公開教室～ぶるんぶるんUFOをつくろう	小学生(3年生以下は保護者同伴)	54人	8/5

（3）親子でチャレンジ！わくわく実験室

内容	対象	参加者数	開催日
親子で簡単な実験実習を体験	小 2,3 の親子	329人	5月～7月の土(5回)
		398人	11月～2月の土(6回)

（4）こども科学博士

内容	対象	参加者数	開催日
不思議な色実験	小1～3の親子	30人	7/31
ブルブルくんをつくろう！		32人	8/6
くるくるレインボーを作ろう！		58人	12/23
まんげきょうづくり		32人	1/10

（５）パソコン基礎講座

内容	対象	参加者数	開催日
たのしくパソコン	高齢者	86 人	5 月～8 月
たのしくパソコン		97 人	8 月～11 月
たのしくパソコン		96 人	1 月～3 月
特別編・Word の使い方		30 人	11/8, 11/9, 11/10
特別編・Excel の使い方		29 人	3/21, 3/22, 3/23

（６）地学体験学習

内容	対象	参加者数	開催日
アンモナイトの化石を削ってみよう！	大人/子ども どなたでも	43 人	4/21,9/15,12/1
宝石みがき	大人/子ども どなたでも	88 人	5/30,6/4,6/12,8/9 10/12,11/1,12/14 3/8,3/30
沼田町化石採集会の魅力	どなたでも	2 人	6/22
化石採集会	どなたでも	87 人	6/24,7/29
パワーストーンの標本作り	大人/子ども	86 人	6/27,8/31,11/29 1/10,3/1,3/22
講座「神居古潭峡谷の地質」	どなたでも	4 人	6/28
サンタプレゼントパークからの眺望	どなたでも	23 人	7/6
アンモナイトのペーパーウェイトづくり	どなたでも	22 人	7/26,1/17
講座「サイエンス・ツアーのみどころ」	どなたでも	6 人	7/27
アンモナイトクリーニング体験	親子/どなたでも	22 人	7/28,2/16
有孔虫の化石を取りだそう	どなたでも	18 人	8/7,1/8
コハクみがき	どなたでも	35 人	8/10,12/14,3/15
講座「黒曜石を学ぶ」	どなたでも	25 人	9/12,9/27
講座「上川盆地の地形と地質」	どなたでも	20 人	9/14
電子顕微鏡撮影	どなたでも	31 人	10/5,10/11,11/9 11/15,12/8,1/24 1/25,2/22,3/5 3/13,3/29
レプリカ作り	どなたでも	8 人	10/12
旭川ではなぜ地震が少ないか	どなたでも	36 人	11/8
岩石磨き	どなたでも	8 人	1/11
講座「旭川の扇状地を調べた結果」	どなたでも	20 人	2/1
講座「極東ロシアで見てきたあり得ない黒曜石」	どなたでも	15 人	2/15
天然石の勾玉作り	どなたでも	14 人	2/21,3/7

（７）プログラミング講座

内容	対象	参加者数	開催日
ゲームをつくってみよう！	小 4,5	16 人	3/29

（８）ものづくり教室

内容		対象	参加者数	開催日
市民木工教室	小さいちゃぶ台の製作	大人	20 人	5/12,5/13
	セミオーダースツールの製作		20 人	8/11,8/12
	小物入れの製作		20 人	10/13,10/14
	万年カレンダーの製作		9 人	2/24
	小椅子の製作		20 人	3/16,3/17
親子でつくる木の工作室	顔付きごみ箱の製作	小 3,4 の親子	38 人	7/29
	万年カレンダーの製作		28 人	12/23
とんとん教室	糸引きごまの製作	小 4～中学生	14 人	7/27
	道具箱の製作		17 人	12/27
初歩の電子工作	LED 点滅灯の製作	小 3,4	13 人	7/30
	光センサ回路の製作		15 人	8/3
	電子オルゴールの製作		11 人	12/26
大人のための電子工作	フルカラーLED あんどんの製作	大人	4 人	5/26
	AM/FM ラジオの製作		5 人	8/19
	アンプつきスピーカーの製作		5 人	11/11
	非常用 AM/FM ラジオ付き LED ライトの製作		5 人	2/11
キッズ電子工作	スクローラーの製作	小 4～中学生	5 人	5/5
	電子サイコロの製作		9 人	8/1
	LED ライト付きラジオの製作		9 人	8/8
	ライントレースカーの製作		10 人	12/24
	オルゴールごまの製作		10 人	1/8
らくらく工作室	紙コップスピーカー作り	小学生	(19 人)※	1/6
糸のこ体験工作	木のキーホルダー作り	どなたでも	143 人	1/17～3/22 (平日の木・金曜の実施可能な日)
親子かんたん電子工作室	メカホッパーの製作	小 1～3 の親子	20 人	8/6
	ぷるぷる・ネズミの製作		20 人	1/12

※コロッ・クルの冬休みに含む

6　野外活動

（１）自然観察会

内容	対象	参加者数	開催日
野外自然観察空間　トンボ池の観察	小 3～の親子	19 人	6/17
神居古潭峡谷の地質	大人	12 人	7/1

（２）自然体験学習

内容	対象	参加者数	開催日
サケ遡上見学会	小学生以上	9 人	10/27

7　科学イベント

（1）サイエンススタジオ

内容	参加者数	開催日
科学あそび大集合	7,835 人	5/3～6
地学（標本づくり，化石レプリカづくり　など）	477 人	9/23
ゴムの工作アラカルト	424 人	11/23
雪と氷	320 人	2/9
コロッ・クルのおもちゃ箱	770 人	3/21

（2）サタデーサイエンスひろば

内容	参加者数	開催日
「燃焼の実験」など，月毎にテーマを変えたサイエンスショー	3,577 人	土（合計 41 回）

（3）低温実験

内容	参加者数	開催日
氷点下 30℃の低温実験室で，過冷却水やダイヤモンドダストの観察実験等を実施	3,694 人	休館日を除く土日（合計 104 回）

（4）春・秋の科学館まつり

内容		参加者数	開催日
常設展示室・プラネタリウム無料開放と各種無料体験ブース	春	1,990 人	4/29
	秋	2,819 人	11/3

（5）ミニマイコンカー教室

内容	参加者数	開催日
ミニマイコンカー製作と競技会	23 人	10/20, 10/21

（6）わくわくワーク

内容	参加者数	開催日
天然宝石を使った母の日カードづくり，とびだす父の日カードづくり，タネコプター，わりばしロケットづくり，音の実験，アルコール船，パワーストーンの標本づくり　など	673 人	5/12, 6/16, 9/2, 9/17, 9/30, 11/24, 12/8, 12/15, 1/26, 2/2, 2/16, 3/2, 3/30

（7）ミニミニ展示

内容	参加者数	開催日
ヒスイ展	112 人	11/18～12/6
アンモナイトのカケラ展	404 人	12/9～1/8
緑色と赤色の石展	302 人	1/19～2/17
黒っぽい石展	302 人	2/20～3/17
青色と黄色の石展	212 人	3/23～3/31

8　各種行事

（1）科学の夢の図画コンクール

旭川市内の小中学生を対象とした科学の夢を描いた図画作品コンテスト

（応募者数：小学生 121 人，中学生 53 人）

内容	参加者数	開催日
優秀作品展示会	688 人	10/4～10/8
特別賞受賞者表彰式	61 人	10/8

（2）上川地方青少年発明くふう作品展

内容	参加者数	開催日
作品展示会	(688 人)	10/4～10/8

（3）「宇宙の日」全国小・中学生作文・絵画コンテスト

内容	参加者数	開催日
特別賞受賞者表彰式	33 人	9/29
優秀作品展示（インフォメーション前ロビー）	ー人	9/29～10/8

（4）科学技術週間行事

文部科学省監修による科学技術週間配布用理解増進資料「一家に 1 枚」ポスター「量子ビームの図鑑」を 4 月 15 日(日)より配布

（5）科学技術映像祭入選作品上映会

科学技術映像祭入選作品を開館時間中にエントランスホールにてリピート上映

期間：4 月 1 日～9 月 5 日（閉館日を除く毎日），10 月 6 日～3 月 31 日（土日祝）

（6）共催事業

内容（共催先）	参加者数	開催日
JAXA/YAC 宇宙教育指導者セミナー（宇宙航空研究開発機構）	23 人	9/1
バリアフリーおもちゃ博（バリアフリーおもちゃ博実行委員会）	4,949 人	10/13～14
日本惑星科学会 2018 年秋季講演会・市民向け講演会（日本惑星科学会）	568 人	10/17～20
大雪観光文化検定「旭川魅力発見伝セミナー」（旭川商工会議所）	32 人	10/26
ジオカフェ（あさひかわジオパークの会）	22 人	1/26, 3/16
わくわくサイエンス（旭川医科大学）	208 人	2/10

9　プラネタリウム事業

天文知識の啓発･普及を目的に,旭川の空に見える季節の星座を紹介する一般投影を中心に,学習番組投影，幼児番組投影，イベント的な特別投影を展開している。

（1）プラネタリウム総観覧者数（※小人は幼児を含む）　　単位:人

区分／月	個人					団体					人数合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	1,883	63	1,505	128	3,579	0	168	89	80	337	3,916
5	2,217	46	1,623	190	4,076	17	56	649	90	812	4,888
6	1,012	28	719	102	1,861	30	200	604	201	1,035	2,896
7	1,540	43	1,236	163	2,982	56	0	1,204	252	1,512	4,494
8	1,771	60	1,183	146	3,160	36	0	801	295	1,132	4,292
9	1,401	47	1,177	160	2,785	49	0	525	194	768	3,553
10	1,298	24	970	227	2,519	34	0	290	120	444	2,963
11	1,545	28	1,165	101	2,839	29	0	423	168	620	3,459
12	748	31	446	90	1,315	15	2	430	66	513	1,828
1	590	23	389	48	1,050	8	0	101	51	160	1,210
2	859	18	489	81	1,447	0	0	53	27	80	1,527
3	1,744	85	1,378	212	3,419	6	0	83	48	137	3,556
合計	16,608	496	12,280	1,648	31,032	280	426	5,252	1,592	7,550	38,582

※「その他」は観覧料免除者（身体障害者・70 歳以上・引率者・介護者・視察）

※「団体」は団体料金適用者

（2）プラネタリウム総観覧団体数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体数	7	14	26	45	38	27	24	20	14	7	6	8	236

（3）プラネタリウム一般番組

日の入りから夜８時の空，そして日の出までの旭川の星空を中心に，約 40 分の星座解説を行う。担当者がそれぞれ番組を自作し，生解説による投影を行っている。

ア　投影番組

番組タイトル	投影期間	テーマ	投影回数
星占いの星座たち	４月	黄道 12 星座	72 回
太陽系のなかまたち	５月～６月	木星・惑星	153 回
火星大接近	７月～８月	火星	149 回
月の世界	９月～10 月	中秋の名月，月面，金星	141 回
旅する星	11 月～12 月	季節の星座・彗星など	106 回
星の動き	１月～２月	東洋・アジアの神話など	88 回
春の星空動物園	３月	動物星座	68 回
		投影回数合計	777 回

イ　一般番組利用状況

月	団体数	観覧者数	投影回数
4	4	1,659 人	69 回
5	6	1,926 人	68 回
6	11	1,071 人	74 回
7	17	1,451 人	67 回
8	17	1,994 人	45 回
9	12	1,385 人	66 回

月	団体数	観覧者数	投影回数
10	6	1,096 人	60 回
11	6	1,232 人	56 回
12	4	660 人	48 回
1	3	563 人	39 回
2	2	696 人	54 回
3	4	1,643 人	68 回
合計	92	15,376 人	714 回

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数に含む。

（4）プラネタリウム幼児番組

幼稚園・保育所等の未就学児団体を主な対象に，物語を多く取り入れた 20 分前後の番組を製作・投影している。

ア　投影番組

番組タイトル	投影期間	テーマ
わんわんわん	4/1～4/30	冬から春の星座紹介，おおいぬ座，こいぬ座
夜空の動物園	5/1～6/30	春の星座紹介，動物星座
夏のほしとたなばた	7/1～8/31	夏の星座紹介，七夕伝説
かぐやひめ	9/1～10/30	秋の星座紹介，かぐやひめのお話
クリスマスのふしぎ	11/1～12/21	冬の星座紹介，クリスマスのお話
ふゆのせいざ	1/16～2/27	冬の星座紹介，エリダヌス座のお話
わんわんわん	3/1～3/31	冬から春の星座紹介，おおいぬ座，こいぬ座

イ　幼児番組利用状況

月	団体数	観覧者数	投影回数
4	0	1,297 人	29 回
5	2	1,627 人	27 回
6	11	1,073 人	34 回
7	23	1,378 人	22 回
8	6	283 人	7 回
9	6	1,323 人	32 回

月	団体数	観覧者数	投影回数
10	12	781 人	21 回
11	9	984 人	20 回
12	8	385 人	14 回
1	0	165 人	13 回
2	3	449 人	19 回
3	2	838 人	25 回
合計	82	10,583 人	263 回

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数に含む。

（5）プラネタリウム学習番組

時間や天候など，制約が多い実天観測の代わりに，プラネタリウムで天体の動きを見せながら解説することで，天文・宇宙に対する理解を促す。

ア　投影番組

対象	番　組　内　容	所要時間	投影回数
小学３年生	かげと太陽（太陽の１日の動きと影の出来方）	30 分	1 回
小学４年生	月と季節の星座（月の形と動き，季節の星座）	30～40 分	19 回
小学６年生	月と太陽（月の満ち欠け）	40 分	5 回
中学生	地球の動きと星の動き（自転･公転と天体の見かけの動き）	40～50 分	0 回
	太陽系と宇宙の構造（太陽系の惑星,銀河系など）	40～50 分	1 回

イ　学習番組利用状況

区分／月	観覧者数（人）						団体数					
	小学生			中学生		合計	小学生			中学生		合計
	3年	4年	6年	「地球」	「宇宙」		3年	4年	6年	「地球」	「宇宙」	
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	43	0	0	1)19	62	0	1	0	0	1	2
6	0	103	0	0	0	103	0	4	0	0	0	4
7	63	0	0	0	0	63	1	0	0	0	0	1
8	0	270	28	0	0	298	0	2)5	1	0	0	6
9	0	142	116	0	0	258	0	5	2	0	0	7
10	0	64	0	0	0	64	0	2	0	0	0	2
11	0	214	48	0	0	262	0	4	1	0	0	5
12	0	0	54	0	0	54	0	0	1	0	0	1
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	9	0	0	0	9	0	1	0	0	0	1
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	63	845	246	0	19	1,173	1	22	5	0	1	29

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数に含む。
1)観覧者は高校生　　2)うち１団体は観覧者，大人

（６）プラネタリウム特別番組

ア　ドームシアター（全天周デジタル映像投影装置を利用した上映）

番組タイトル	内　容	観覧者数	団体数	投影回数
見えない宇宙を探る ダークユニバース	「目に見えないもので満ちている宇宙のお話」（オート番組）	(9,598人)	42	318回
～宇宙の旅人～ Voyagers of space	「人類と宇宙の密接な関係についての物語」（オート番組）	(409人)	0	11回
宇宙兄弟 一点のひかり	「宇宙を目指す兄弟のアニメーション」（オート番組）	(598人)	0	11回

イ　夜間特別番組（天体やプラネタリウムに興味のない人も楽しめるように配慮した上映）

番組タイトル	内　容	観覧者数	投影日
秋の星空CDコンサート 「ハロウィンの星空とゆかいなおばけたち」	魔女のオリジナルキャラクターやCD音楽とともに楽しく星座や星空を学び，ハロウィンの日の星空を紹介する特別番組	(138人)	10/6
クリスマス冬の特別番組 「クリスマスファンタジー ～赤鼻のトナカイの秘密～」	クリスマスのCD音楽とともにクリスマスの日に旭川でみることができる星空の紹介や，赤鼻のトナカイにまつわるおはなしを紹介する特別番組	(104人)	12/8
春の特別番組 「春の夜語り～月と星のささやき～」	春の星空紹介と旭川おはなしの会で活躍する中辻明氏による月と星にまつわるおはなしを素語りする特別番組	(162人)	3/9

１０　天文台事業

（１）星の教室

内容	参加者数	開催日
天体望遠鏡をさわってみよう～天体観測と撮影講座～	15 人	5/13
火星の接近～2018 大接近～	38 人	7/29
恐竜物語～恐竜の絶滅は恐ろしい大事件，大規模なものだった～	95 人	9/23
火星衛星探査計画～フォボスとダイモスは水惑星の夢を見るか？～	25 人	11/25
今年の天文現象 2019	18 人	1/27
太陽系と太陽系外惑星～第 2 の地球を探せ～	26 人	3/31

（２）天体を見る会

内容	参加者数	開催日
春の星の観測	15 人	4/7
春の星と月の観測	70 人	4/21
春の星の観測	11 人	5/5
春の星と木星・月の観測	31 人	5/26
木星の観測	47 人	6/2
木星の観測	81 人	6/30
木星・土星の観測	45 人	7/14
夏の星と木星・土星の観測	219 人	7/28
七夕の星の観測	172 人	8/7
土星・火星・月の観測	150 人	8/18

内容	参加者数	開催日
火星・土星の観測	70 人	9/8
中秋の名月	41 人	9/24
火星・土星・海王星の観測	122 人	9/29
火星・海王星・天王星・月の観測	104 人	10/20
火星・海王星・天王星・月の観測	34 人	11/24
火星・海王星・天王星・月の観測	26 人	12/15
冬の星と火星・天王星・月の観測	11 人	1/12
冬の星と火星・天王星・月の観測	40 人	2/16
火星と月の観測	15 人	3/16

（３）親子天文博士

内容	参加者数	開催日
親子で天体望遠鏡の組み立て・設置・観測の体験	36 人	6/23，9/22

（４）天文台見学

内容	参加者数	開催日
昼間に見える星や太陽黒点の観測	12,316 人	4 月～3 月

（５）出張天文教室

内容	参加者数	開催日
東光公民館にて百寿大学向けの天文講座	44 人	5/23
永山公民館にて百寿大学向けの天文講座	33 人	5/30
旭川市市民活動センターCoCoDe キャンドルナイト in 旭川 天体観測	60 人	6/16
旭川市江丹別若者の郷　親子天文観測会	19 人	8/17
愛宕公民館にて百寿大学向けの天文講座	43 人	8/22

（６）夏・冬休み天文教室

内容	参加者数	開催日
天体望遠鏡の製作と使い方のレクチャーなど	20 人	7/30,12/27

（７）コズミック・カレッジ

内容	参加者数	開催日
ゴム動力飛行機の製作と試験飛行	8 人	8/4
モデルロケットの製作と打ち上げ	8 人	8/5

（８）その他天文事業

内容	参加者数	開催日
東光公民館東光女性学級向けに館内にて天文講座	28 人	5/30
JAXA/YAC 宇宙教育指導者セミナー	(23 人)	9/1
YAC 宇宙教室	5 人	9/2
天文講座（高文連上川支部理科研究発表大会）	68 人	9/25

１１　学校連携事業

（１）科学館体験学習

科学館利用団体の要望に応じ，サイエンスショーや理科実験・電子工作・木工作・地学実習などのメニューを実施

内容	参加者数	開催日
「超低温の実験」,「色々スライムをつくろう」，低温実験，「パソコンデザインのプラ板キーホルダー」,「小物入れをつくろう」,「アンモナイトのレプリカづくり」など	2,066 人	通年（団体からの依頼ごとに実施）

（２）職場体験学習の受け入れ

内容	参加者数	開催日
東陽中学校	5 人	10/3
明星中学校	2 人	10/11

（３）巡回実験教室

団体からの要望に応じて職員が出向き，サイエンスショーや理科実験・工作などを行う。

内容	参加者数	開催日
「超低温の実験」,「色々スライムをつくろう」,「パワーストーンの標本づくり」など	402 人	原則として整理休館日の内指定日

（４）プラネタリウムの学校授業での活用

学校名（学年）	参加者数	開催日
旭川中学校（３年生）	42 人	10/12
旭川中学校（３年生）（全道理科研究会）	90 人	10/26
西神楽中学校（３年生）	18 人	11/29
神楽中学校（３年生）	119 人	12/21

（５）教員のための博物館の日の共催

内容	参加者数	開催日
プログラミング講座見学	(1 人)	8/8

（６）アウトリーチ授業

実施場所	参加者数	開催日
大有小学校，正和小学校，日章小学校　ほか	112 人	8/21,8/31,9/13,12/18,2/1

１２　人材育成事業

（１）実習生の受入れ

博物館法施行規則第 1 条に基づき行われる学芸員の資格を得るために必要な博物館での実習を，旭川市博物館と一体的に実施。

内容	参加者数	開催日
学芸員実習	42 人	8/24～8/26

（２）人的ネットワークづくりと人材育成

ア　JPA 北海道プラネタリウムネットワーク研修会（7/9，釧路市）

イ　第 54 回北海道青少年科学館連絡協議会 職員研修会（11/15～11/16，札幌市）

（３）サイパル理科研修会

内容	参加者数	開催日
プログラミング講座見学	1 人	8/8
理科の「見方・考え方」ってどんなこと？	5 人	1/11

（４）知育・理科遊び研修

内容	参加者数	開催日
道北地区児童館連絡協議会「理科遊びプラクティス part2」	(23 人)	10/23

（５）教育大学生の受入れ

北海道教育大学旭川校で実施している「教育フィールド研究Ⅰ」を受講する学生を受け入れ，社会教育に携わる人材の育成に寄与する。

内容	参加者数	開催日
教育大学生の受け入れ	110 人	5 月～9 月

１３　ボランティア事業

子供たちに科学のおもしろさや，科学を学ぶ楽しさを伝えたいという人たちが参加する団体「サイエンスボランティア旭川」による，旭川市科学館の事業運営のサポート及び科学の普及活動。

（１）概要

ア　団体名　サイエンスボランティア旭川

イ　代表者　鈴木　紘一（平成 30 年度）

ウ　設立年月日　平成 16 年 5 月 15 日

エ　登録会員数　106 名（うち事務局員 6 名，特別学芸員 57 名）

※平成 31 年 3 月末日現在

（2）平成30年度従事者数（半日単位）

月	従事日数	延べ従事者数
4月	25日	266人
5月	26日	254人
6月	29日	308人
7月	31日	333人
8月	31日	284人
9月	27日	264人

月	従事日数	延べ従事者数
10月	25日	246人
11月	25日	288人
12月	25日	271人
1月	22日	251人
2月	23日	245人
3月	27日	293人
	計	3,303人

（3）活動の内容

科学館の運営・事業等の支援	常設展示機器運営・サポート・展示案内・説明，レファレンスルーム管理他。
自主事業の企画・実施	「科学で遊ぶ冬」,「日曜日も科学館」,「大人の簡単工作」,「会員研修」,「販売促進」,「出前ワークショップ」,「親睦活動」の開催。教育大学旭川校等からの学生ボランティア受入。
ミュージアムショップ関連	科学館1階ミュージアムショップの一部でオリジナル商品を販売。

（4）サイエンスボランティア旭川自主事業

内容	参加者数	開催日
日曜日も科学館	2,684人	4月～3月の日曜日
かんたん工作	3,781人	夏休み・冬休みの平日及び春休み
教育大生のワークショップ	195人	8/26,9/2

（5）問合せ先

ア　住所

〒078-8391　旭川市宮前1条3丁目　旭川市科学館内

サイエンスボランティア旭川事務局

イ　連絡先

TEL 0166-31-3016

FAX 0166-31-3310

E-mail: science_asahikawa@yahoo.co.jp

ウ　ホームページURL

http://asascience.blog.fc2.com/

Ⅲ　調査研究活動/情報提供活動など

1　調査研究活動

（1）旭川市科学館研究報告の発行

ア　旭川市科学館野外自然観察空間の生態系調査について

イ　石狩川水系忠別川におけるサクラマスとシロザケの産卵床数の 2018 年の記録

ウ　上川盆地，特に旭川における扇状地についての地形学的な再検討・再確認

（2）天文略表の編集

2　貸室事業等

科学館の事業以外の目的で特別展示室及び学習・研修室の使用を希望する団体に対しては，科学館の運営に支障のない範囲で貸室を承認している。

平成 30 年度の使用者（延べ数）は 3,920 人。

3　情報提供活動

（1）レファレンスルームの開放

設置・使用目的	各科学分野に関する自習スペースとして開放するとともに，生物・地学分野の観察・実習活動の場として活用
備付け備品類	走査電子顕微鏡(係員が立会で使用)，双眼顕微鏡，インキュベーター,その他各種観察・実験器具
備付け資料など	科学関係図書・DVD 等，植物・昆虫・鉱物標本，動物・野鳥・昆虫・植物の写真ファイル，昆虫などの生体他 （備品・資料・家具類などは一部を除き（社）旭川自動車学園からの寄贈による）

（2）ホームページの運用

運用目的	科学館についての情報提供を広く行うとともに，市民や利用者とのコミュニケーション活動を推進するために活用する。
主な掲載内容	科学館案内や各種事業活動の内容，募集情報，ミュージアムショップの紹介，研究成果など。

4　広報活動

（1）広報誌「こうほう旭川市民」への事業案内，利用案内等の掲載。

（2）新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等報道機関その他媒体への情報提供，取材依頼。

（3）科学館利用案内リーフレット，パンフレット等の配布。

（4）各種事業のチラシを市内及び近郊の小中学校，公共施設等に配布。

（5）ホームページや Facebook を通じて利用案内や事業情報等を発信。

（6）「科学館報」の発行，配布。

（7）レファレンスルームに科学館の事業活動を紹介する情報コーナーの設置。

Ⅳ　旭川市科学館利用案内（平成 30 年度）

1　観覧料

（1）中学生以下は無料。大人・高校生の観覧料は次のとおり。

科学館		博物館	観　覧　料　（円）			
常設展示室（1日）	プラネタリウム（1回）	常設展示室（1日）	大人		高校生	
			個人	団体	個人	団体
●			400	320	250	200
	●		300	240	200	160
●	●		500	400	300	240
●		●	500	400	300	240
	●	●	400	320	250	200
●	●	●	700	560	450	360

※団体料金は，同じ料金の方が 20 名以上の場合に適用。

※次に該当する方は観覧料を免除。

①旭川市内在住の満 70 歳以上の方
（鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町在住の満 70 歳以上の方も含む）

②身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者（介助対象者と同人数まで）

③介護保険法に定める要介護者及びその介助者（介助対象者と同人数まで）

④学校の児童生徒等を引率する教員又は一般団体引率者

※旭川市，鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町の高校に通学又は在住する高校生 20 名以上の団体は，科学館の観覧料のみを５割減額。

（2）各種パスポートの購入者は，利用開始日から１年間，対象施設を何度でも観覧可能。

種　　類	対　象　施　設	料金（円／枚）	
		大　人	高校生
科学館パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,000	600
博物館・科学館パスポート	博物館の常設展示 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,400	900
動物園・科学館パスポート	旭山動物園 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,820	

※上記パスポートは科学館の受付（動物園・科学館共通パスポートは旭山動物園のチケット販売所でも）又は市内公共施設の売店などでも購入可能。

※博物館の受付では博物館パスポートと博物館・科学館パスポートの２種類のみ購入可能。

※特別展・企画展については，その都度実行委員会が定める額。

2　開館日等

（1）開館日数

開館日は 319 日間，休館日は 46 日間（うち，保守点検休館日は８日間）

（2）休館日

ア　毎週月曜日（当該日が祝日に当たるときは，休日を経過した最初の日。ただし６月から９月の期間を除く。）

イ　年末年始（12 月 30 日から翌年の 1 月 4 日）

ウ　毎月末日。ただし，末日が祝日，土，日曜日に当たるときは，その月末の平日。

（３）臨時開館日

上記（２）休館日のうち，５月１日（火），１月２日（水）及び３月 29 日（金）

（４）開館時間

午前９時 30 分から午後５時まで（観覧のための入館は午後４時 30 分まで）

※8 月 11 日から 15 日までは午後８時まで(入館は午後７時 30 分まで)延長

※必要なときは全部又は一部の開館時間を臨時に延長

（５）交通手段

ア　徒歩

・ＪＲ旭川駅から徒歩 25 分

・ＪＲ旭川四条駅から徒歩 15 分

イ　バス（ＪＲ旭川駅前で乗車，「科学館前」で下車）

・旭川電気軌道バス 82 番線「南高行」(27 番のりば)

・旭川電気軌道バス 84 番線「ひじり野１の１行」(27 番のりば)

・旭川電気軌道バス 33 番線「東光 16 条５丁目行」(17 番のりば)

ウ　道央自動車道

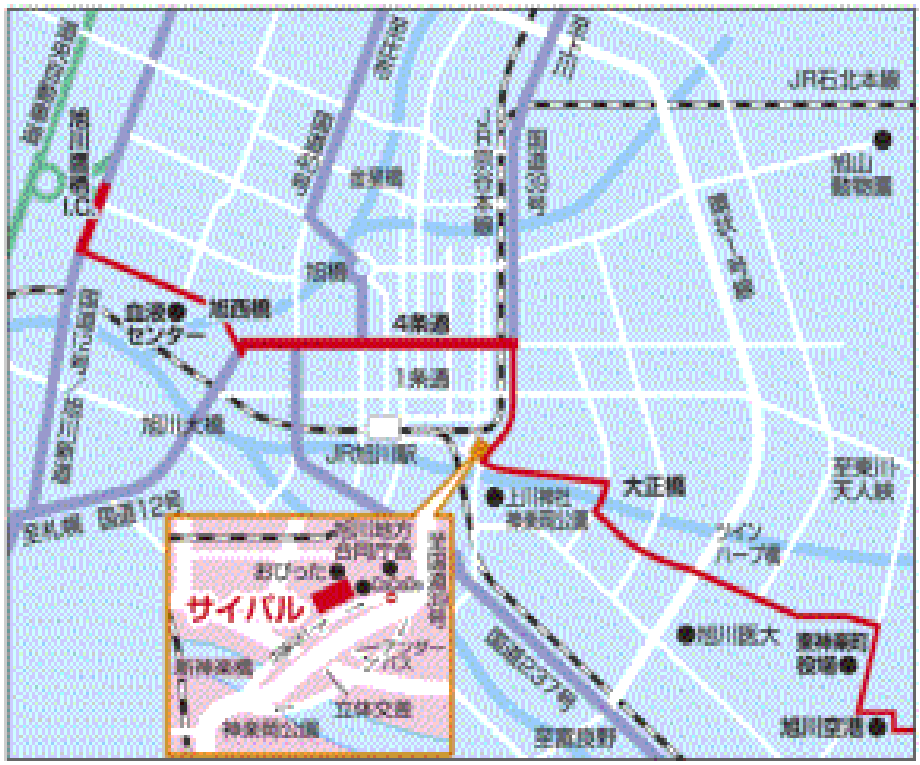
・旭川鷹栖 I.C.から車で約 25 分

・旭川北 I.C.から車で約 45 分

エ　旭川空港

・旭川電気軌道バス 77 番線「旭川市内行き」，「宮前通東」で下車

（６）周辺地図



旭川市科学館の愛称「サイパル」の由来

「サイパル」とはSCIENCE（科学）とPAL（仲間，友達）を組み合わせた言葉です。また，いろんな科学の彩りに出会える絵の具を散りばめたサイエンスパレットの略です。

新しい科学館の建設地の北彩都（きたさいと）あさひかわの「彩」もイメージしています。科学に親しみ，科学を通して交流の輪が広がってほしい。そんな願いが込められています。

旭川市科学館・マスコットキャラクター
「コロッ・クル」

地球上初めての生命「単細胞」が集まる様子をモチーフに，古くから欧米では「学問の神様」として扱われアイヌの人たちには「森の守り神」として敬愛されたフクロウを組み合わせた架空のキャラクターです。

コロッ・クルは，アイヌの伝承に登場するコロポックルからネーミングされました。

令和元（2019）年

旭川市科学館報　Vol.11

令和元年５月発行

発　行　者　　旭川市科学館

旭川市科学館　　〒078-8391　旭川市宮前１条３丁目３番３２号

TEL 0166-31-3186　　FAX 0166-31-3310

ホームページ　　http;//www.city.asahikawa.hokkaido.jp/science/

メールアドレス　kagakukan@city.asahikawa.hokkaido.jp